



国民春闘共闘

第31号

2019年4月1日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

19 国民春闘賃上げ第3回集計

**単純平均 5,436 円、加重 5,971 円・1.96%
上積み回答の獲得前年より 2.3 ポイントアップ**

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は29日、第3回目の賃金改定集計を行い、12 単産・部会から報告が寄せられました。

<回答状況>

	2019年	2018年（同期）
登録組合数	796	818
回答引き出し組合数	315 (39.6%)	325 (39.7%)
うち金額・率の回答	230	239
うち「定昇確保」など言葉による回答	85	95
うち上積み獲得	48 (15.2%)	42 (12.9%)
うち妥結組合数	64 (20.3%)	56 (17.2%)

<回答内容>

集計方法&対象		2019年	2018年（同期）	（同期比）
単純平均	額（円）	5,436	5,531	-95
	率（%）	1.92	1.97	-0.05
加重平均	額（円）	5,971	6,083	-112
	率（%）	1.96	2.07	-0.11
	組合員数	55,701	55,996	

<前年実績との比較が可能な組合における回答状況（金額での比較）>

前年比較可能な組合数	うち前年実績以上	（前年超）	（同 額）
207	115 (55.6%)	79	36

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	金額・率	前年実績	（前年比）
単純平均	額（円）	207	5,482	5,643	-161
	率（%）	173	1.93	1.94	-0.01

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※「定昇確保」など言葉による回答は計算から除いています。

<集計結果の概要>

回答引出し・妥結状況

3月29日の第3回集計には、12単産・部会から報告が寄せられました（前年同期2018年3月30日現在・17単産・部会）。

登録796組合のうち、回答を引き出したのは315組合・39.6%で、回答引出し率は前年同期（39.7%）とほぼ同率です。また、315組合のうち、「定昇確保」などの言葉による回答を得た組合が85組合で、金額・率などが明らかになっている有額回答を得た組合は230組合となっています。また、回答引出し組合の15.2%にあたる48組合が2次回答以上と上積み回答を引き出し、前年より2.3割アップしています。なかには、6次回答を引き出した組合もあります。なお、64組合が妥結となっています（妥結率20.3%）。

回答内容

有額回答を引き出した230組合での単純平均（一組合あたりの平均）は5,436円・1.92%で、前年同期比95円減・-0.05割となっています。加重平均（組合員一人あたりの平均）は5,971円・1.96%で、前年同期比112円減・-0.11割となっています（額のみ・率のみの回答の組合があるため額・率は連動せず）。

前回集約時より新たに3組合が1万円以上の賃上げを勝ち取り出版労連・JMITU・民放労連・地方マスコミなど14組合が1万円以上の賃上げを勝ち取り、25組合が8,000～9,000円台の引き上げを獲得しています。また、登録対象組合ではありませんが、建交労の学童保育の組合から、25,000円の賃上げを勝ち取った報告が寄せられています。

同一組合での対比が可能な207組合の単純平均額の結果を前年実績と比べると、今期は5,482円で、前年実績を161円下回っています。また、前年実績以上の回答を引き出せた組合は115組合（55.6%）となっています。賃上げ率では173組合の比較で、1.93%で前年実績を0.01割下回っています。

3月最終週を前に、精力的に団体交渉を重ねている組合からの積み上げ回答が寄せられ始めています。粘り強い交渉を重ねる中で、第1次回答から1,000円以上回答額を引き上げた成果も生まれています。

非正規で働くなかまの賃上げ状況

非正規で働く仲間の賃上げ状況については、建交労、JMITU、生協労連、全印総連、民放労連、出版労連、日本医労連、特殊法人労連、地方マスコミの9単産143組合から307件の成果獲得の報告が寄せられています。

時給制労働者では、引き上げ額で133件の平均で19.3円となっています。率では、54件平均で1.71%で、正規雇用労働者の賃上げ率の単純平均（1.92%）を下回っている状況です。

月給制では、生協労連をはじめ、41件の獲得報告が寄せられています。引き上げ額では、31件の単純平均で2,560円の回答となっています。前年実績との比較可能組合では、38件の単純平均で2,460円で前年実績を238円下回っています。

再雇用者の賃上げ状況については、時給制26件、月給制23件の獲得報告となっています。引き上げ額では時給制で13件22.0円、月給制で9件2,798円となっています。

企業内最低賃金改定状況

企業内最賃協定の獲得状況について、建交労、JMITU、化学一般労連、生協労連、民放労連、出版労連、日本医労連の7単産66組合から129件の獲得報告が寄せられています。職種などの限定のない「誰でも」協定では、時給制で65件の獲得報告があり、新協定額の報告のあった64件の平均では931円、引き上げ額・率では30.4円・3.22%（額・率は連動しない）となっています。日額制では12件の獲得報告があり、新協定額7,799円となっています。引き上げ額・率は179円・2.12%となっています。月額改定では20件の獲得報告が寄せられ、新協定額の単純平均は171,492円、引き上げ額・率は3,363円・1.96%となっています。

また、職種別では、建交労のトラックで月額177,000円の企業内最賃の獲得報告が寄せられているのはじめ、日本医労連で看護師・ヘルパーの職種別最賃協定の報告が寄せられています。

最低賃金制度要求・底上げ要求を受けて、時間給・日額・月額とも引き上げ率では、賃上げ集計の賃上げ率（1.92%）を上回る成果を引き出しています。引き続き職場・地域から、時給1,000円以下をなくす取り組みを強めましょう。

**かちとろう 大幅賃金引き上げ、8時間働いて人間らしく暮らせる社会
とめよう 安倍9条改憲、消費税増税
職場と地域からの共同のたたかいで、未来を切り拓こう**